



ゆりの樹幼稚園のクラスの絵が描かれていますのでご紹介します。

## 教育方針の絵の願い

### エクステンジ

自分の根本は変えられない部分もあります。どんなに努力をしても、結局、元のままだった、変れないと感じることもあります。そう感じるのも間違っていないのです。違う自分になることは苦しいのです。だからこそ、少しだけ行動を変えればいいのです。少しだけ行動を変えることが、人からは 違って見える、人から成長したと見えるのです。だから、小さな行動ステップでいいのです。自分を客観的にみて、少しだけ行動を変えてみましょう。勇気をもって。そして、行動を変えることで、自分の中の奥底に、いつの間にか変化が起きているのです。それが成長です。

### エコ・エンバイロメント

常に自分の心と体の健康に気をつけること。そのためには自分の周りの物的、人的環境を整えること。愛のある言葉、夢、希望が持て、勇気が出る言葉をしっかりたべる「心の朝ごはん」、そしていつも自分のことを理解してくれ、共感してくれる人を見つけておくこと、「心のウンチ」ができる場所があることが大切です。しっかり心の朝ごはんを食べたら、うんちを出すことも大切、もし、心のうんち(不満、不安な、怒りなどの感情)を出すことができなかつたら、抑圧となって、それは変な形となって爆発するのです。だから、時、場所、相手、タイミング、言い方を考えて、上手に出す事が大事です。

### エンパワーメント・エンターテイメント

#### エンジョイ・エクセレント

人間力・エンパワーメント(色々な人や本がどんなに良いことを教えてくれ、私達が進む道を示唆してくれても、自分がその道を進みたい《進むべきではなく進みたいという気持ち》が大切。人生はshouldからwillへの転換が大切。他人がどう思うかを気にした「すべき」から「自分がどうしたい」のかという切り替えが大切。》それが人間力)が増してきて、他者を理解することにもつながり、どんな自分も受け入れることができるようになります。結果として、心がリラックスし、どんなことも楽しんで、エンジョイして取り組める大人に育っていくことができるのです。そして次に、自分が楽しければ、人間はそれを伝えたい(エンターテイメント)のです。楽しんで、伝えて、伝わったら、嬉しくて、また伝えて、楽しんで、それが仲間づくりに発展します。自分の感情、どうしたいかに気づいて、見返りを求めずにいれば、最後まであきらめ ないで、伝わるまで、伝え続けることもできるようになります。それが人生をエクセレントにするのです。

### エデュケーション・エモーション

エデュケーションはゆりの樹の三つの教育(共育・響育・驚育)三つのかかわり(私は私・私とあなた・皆の中の私)、三つの柱(自立の循環・知ることの喜び・思い出と感動)です。その実現の為の、「ゆりの樹の10E」です。どのように生きるかは、その行動がどのような自分の心の奥底にある動機、感情に突き動かされているかが大切です。だから、感情・エモーションに気づくことが一番大切です。自分の感情や、自分がどのような感情、動機に突き動かされて行動しているのかに気づかない限り、人は自分の行動は納得できないのです。感情に気づかないと、自分が、居心地がいいか、悪いかも自分で分らないので、自己選択、自己決定ができないのです。感情に気づけば、自己選択、自己決定ができ、自分を承認し、自信がつき、自分に自信があるから、自他分離し、他人も自分も「これでよし」と、共感でき、そこに真の自立があるのです。これが自他肯定です。自他肯定できるからこそ、素直な言葉が出てきます。自分の心の声、感情に素直であれば、他人の目や人がどう思うかを気にして、フリ、ムリをしなくて済みます。

このゆりの樹幼稚園のクラスの集団の中と家庭生活を通して、子どもは自分の心に修正を加えながら、最後まであきらめな心、何があってもそれを乗り越えていく心を持ち、自分の事が大好きで、自分の事を信じていることができる子どもに育ちます。そのために、自分の感情に気づき、どんな自分も受け入れることで、人間力を高め、思いを人に伝える事が出来る、そして 他人に振り回されず、自分で選択決断し、常に行動変化をしながら、この地球を、自分の人生を、そのプロセスを楽しみながら、自分が自分であるというアイデンティティーを確立していくのです。